

若くても「できた人」はいるものだ。プロ野球横浜DeNAベイスターズの今永昇太投手。駒大からことドラフト1位で入団した左腕である。

愚痴をこぼさない。期待に応えて4月に開幕ローテーション入りしたが、好投しながらも援護に恵まれず、4連敗した。この間、言い訳や弱音を吐かなかった。

「投げ勝ってこそ信頼される。負けた投手の名前は残りません」「援護がない、というのは防御率0点台のピッチャーが言うことです」「三振が取れるより、勝てるピッチャーがいい投手」

われわれの日常生活でも、電車が遅れたから、急いでいたので…と“たられば”を言いがちだ。勝負の世界に身を置く者ならば、ついつい言いたくなるものだが、今永投手は「負けたときの姿をみんなが見ています」と、勝利から遠ざかっても自滅することはなかった。

5月6日にプロ初勝利をようやく掌中にすると、本人よりチームメートが大喜びした。今永のために打つ、走る、守る。戦いの場のグラウンドが一つになっていく。プロスポーツは選手獲得の際、心奥まで見ているのだと感じ入った。それから5連勝。「勝利の女神」と「野球の神様」が並んでやってきたかのようだった。

「千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を練とす」。剣豪・宮本武蔵の言葉だ。鍛錬は容易ではない。それでも今永投手に倣って、自らの本分にまっすぐ真剣に取り組めば、道は徐々に開けてくるかもしれない。

ヒーローインタビューでお決まりの言葉、「応援よろしくお願いします！」なんて言われなくても、ハマの背番号21に声援を送る。

(編集長 久保田茂信)

Staff

◎取材協力

学事部
各学部事務室
大学院事務室
学生部
ボランティアセンター
中央図書館

国際センター
入学センター
キャリアセンター
学友会
経理研究所
委員会 ほか

◎写真提供&協力

「中大スポーツ」新聞部

◎写真提供

A F P 通信

◎学生記者

西村卓真
高瀬杏菜
中村亮士
増田ゆり
野村睦
山下崑
菅野誠一郎
代田知之
猪瀬春奈
山田俊輔
魚住剛司

今村直道
片桐将吾
長塚優佳
内藤伊音
渡邊大裕
佐藤檀子
本間友里香
宮田詩織
森真優
田村律子
土方海緒

(順不同)

◎制作協力

平田碧 (株式会社ツグミ) 太田まゆみ
稲葉美枝子 (株式会社オーク) 小室恵理子

NEXT ISSUE

『HAKUMON Chuo』2016 秋号
No.248 10月23日発行予定

学生記者が総力取材!

お楽しみに!



2016 夏号 NO.247

2016年(平成28年)7月1日発行

発行：中央大学広報室
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

メールアドレス：hc@tamajs.chuo-u.ac.jp
編集担当：『HAKUMON Chuo』 ☎042-674-2048